

何でも相談会

生活と健康を守る会としが健康医療生協が共同で取り組む「何でも相談会」に、医療生協の組合員さんが来られ「ある新聞に『安倍政権のもとで年金支給額が実質6・4%減った』という記事があったが、どういうことなのか？」と相談がありました。

× × × × × ×

年金者組合の役員でもある、医療生協常務理事の佐々木さんに問い合わせると、安倍政権下で年金の実質支給額が下がった要因は、大きく三つがあるとの事です。

一つ目は、少子高齢化への対応を口実とした「マクロ経済スライド」です。これは今後30年かけ基礎年金の支給水準を3割削る計画です。

二つ目は、現在の年金額改定ルールが、物価の上昇を反映しにくい仕組みになっていることです。年金支給額は、物価と名目賃金の変動率を指数に改定されますが、物価より名目賃金の伸びが低

い時は名目賃金に合わせて改定されるルールになっています。

また、物価がプラスでも名目賃金がマイナスの場合は、支給額を据え置くルールになっています。

三つ目は、過去に物価が下がったときに支給額を据え置いた分を、10年以上たってから年金支給額に反映したことです。

実質額6・4%の大削減

2000～02年に物価が下落した際、当時の政府はルール通りに年金を改定するのではなく「社会情勢」を理由に、支給額を据え置く判断をしました。ところが安倍政権は、据え置き分を調整するとして、13～15年度に支給額を合計2・5%も引き下げたのです。この三つの要因によって、安倍政権発足以後の13～20年度の間に、物価は5・8%上がったのに、年金支給額は名目額では0・6%の削減となり、実質額でみてみると6・4%の大削減となっているのです。



こども食堂・寺子屋通信

1月18日、にじの家サロン子ども食堂&寺子屋(以下、子ども食堂)を開催し、10人の子どもたちが集まりました!

今回は『書初め』にチャレンジ。今回初めて習字をする子どももおり(習字の授業は小学3年から)、医療生協の筆ペンサークルの先生が、筆の持ち方から丁寧に教えてくれました。

お昼からは毎月恒例の「にこにこくらぶ」様による紙芝居・読み聞かせを実施。頭の体操で「なぞなぞ」に挑戦しました。



▼子どもたちの作品です



原発のない社会へ

2020 びわこ集会

関電原発ブラックマネーの徹底究明を
高浜・美浜の老朽原発を動かすな

ぜひ、ご参加を!

*とき 2020年

3月7日(土)

10時 開始

15時 デモ出発

*場所

大津市膳所公園

大津市学習センター